

質問書回答

2017年 7月 18日

「タイ国東南アジア地域低炭素・レジリエントな社会構築推進能力向上プロジェクト」

(案件番号:170436 公示日:2017年7月5日)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番	当該頁項目	質問	回答
1	6 ページ 6.【成果 3】(2)現地研修に係る費用	別見積の項目として、「【成果 3】(2)現地研修に関わる費用」との記載がございますが、これは研修とは別に開催する、現地セミナーに関わる費用という理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。
2	13 ページ (5)活動の概要【成果 1に係る活動】 1-1-4 既存コースの実施 1-2-3 新規コースの実施	本技プロで支援の対象とする研修コースの数は 3 年間で何件を想定されておりますでしょうか。	既存コース 4 件、新規コース 2 件を想定しております。
3	17 ページ (4)自立発展性の重視	現段階でタイ側とのコスト負担について何かしら合意はされておりますでしょうか。	現段階で、具体的な費用分担についての合意はありません。
4	18 ページ (6)長期専門家との連携 23 ページ～24 ページ(活動 3-1、3-2、3-3、3-4)	成果 3 に関する各活動について、短期専門家チームは長期専門家の活動に協力する、との記載がございますが、これは日本側の主担当は長期専門家であり、短期専門家チームはサポートという立場で協力する、という理解でよろしいでしょうか。	ご理解のとおりです。ただし活動 3-2 のセミナー等開催につきましては、コンサルタントチームが会場借上等のロジスティック面を担当することと想定しております。
5	25 ページ 7.成果品等 (1)報告書・技術協力成果品	通常、複数年度案件における業務計画書は契約締結後に一回のみ提出することが多いと存じますが、今回は 1 年毎に業務計画書の提出が必要でしょうか。	ご理解のとおりです。

通 番	当該頁項目	質問	回答
6	29 ページ 【第 3 業務実施上の条件】 2.(2) 業務従事者の構成 (案) d) 研修講師指導	アサインには「研修講師指導」が含まれておりますが、指示書にはこれに関する具体的な活動の記載が見受けられませんでした。この項目に対しては、研修を担当する現地職員の能力について現状何が課題となっており、どの点を改善・強化すべきなのかご教示いただけますでしょうか。また、現段階では課題が明確となっていない場合、問題の特定プロセスをプロポーザルにおいて追加提案することは可能でしょうか。	現時点では、必ずしも課題が明確となっていないことから、ご提案のとおり、問題の特定プロセスについてプロポーザルでご提案下さるようお願いします。

以上